

昭和学院短期大学
2021年度 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム公開講座〔第4回〕

古典文学と鎌倉の町並み

武家の町として発展した鎌倉ですが、もちろん武士だけで町は成立しません。町人が商いを始めてこそ町が活気に満ちていきます。鎌倉時代は、現在の大町・材木座あたりの区域が特に賑わっていたようです。このあたりは道なりに日蓮宗系の寺院が多い特徴がありますが、宗派にこだわらず、さまざまなエピソードが残っています。そうしたエピソードを拾い集めてみましょう。

〔日 程〕2021年12月18日(土)

〔場 所〕昭和学院短期大学 本館304教室

〔時 間〕13:30~15:00

〔講 師〕佐藤 智広 昭和学院短期大学教授

1992年 筑波大学大学院修士課程教育研究科修了

1996年 筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科退学

修士(教育学)、修士(文学)

1996年 昭和学院短期大学専任講師、

以後、助教授(准教授)を経て現職

独立行政法人国文学研究資料館調査員、

青山学院大学・大東文化大学・聖徳大学等非常勤講師

荒川区職員ビジネスカレッジ講師などを歴任

主著『古典と歩く古都鎌倉』(新典社、2014年)

『和歌文学大系 64 瓊玉和歌集ほか』(明治書院、2014年)

『長門本平家物語自立語索引』(勉誠出版、2009年)など



〔定 員〕 60名

〔資 料 代〕 500円/回 ※ 資料代は当日受付にてお支払いください。

〔申 込 み〕 裏面の「受講申込書」にてお申し込みください。